

令和 7 年度 在宅医療・介護連携推進事業 事業活動評価アンケート調査 結果報告【行政】

I.目的

- ・現状の事業活動に対する関係者の満足度及び課題と感じている点、要望する新たな活動等を把握する。
- ・調査結果を今後の事業活動へ適切に反映し、事業の見直しや改善につなげる。
- ・各専門職団体、推進委員、実施主体者双方が事業活動への理解を深め、更なる連携推進を図る。

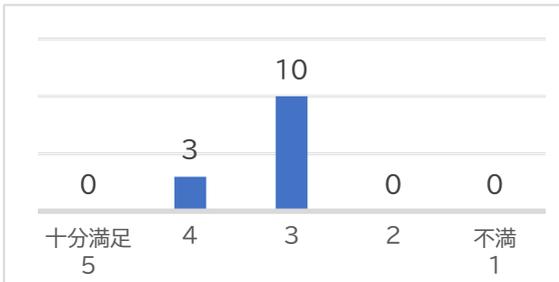
II.対象者および回収率

・中部地区 12 市町村 事業担当者、沖縄県介護保険広域連合 計画推進課 回収率 100%

III.アンケート調査結果

●地域の医療・介護資源の把握、提供

医療・介護おたすけマップの満足度を教えてください。



平均値 : 3.2

医療・介護おたすけマップに関して、改善・工夫が必要だと思う点があれば教えてください。

機能	医療福祉関係者が利用するのか、住民等が利用するかで使い方が異なると考えられるのでその分け方も必要かと考えられる。
	地域毎、施設種別毎に抽出はできるがさらに条件を絞って抽出できると使いやすい
	施設系のサービスで身寄りない人受入れ可能な施設を条件検索できるような機能が欲しい
情報の更新など	えらべる+と統合できれば、市民がより情報を得やすいと思う。
	事業所の詳細登録の管理がなかなか難しいと思うのでそこに時間を費やすよりも、他に似たようなサイトがあれば統合してはどうか？どのサイトもタイムリーに情報更新する課題はあるように思われる。(WAM NET/介護サービス情報公開サービス)
	情報が定期的に更新されると、なお良いと思います。
その他	関係機関への周知方法
	「お助けマップをみて利用者がふえた」等、実際の声は事業所側からのほうが挙がりやすいのかなと思うので、どのような声があるのか調査をしてもいいのかなと思いました。

地域の医療・介護資源の把握と提供について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

地域資源の把握として、各市町村が資源マップ等を取りまとめているかと思うので、その資料を PDF で確認出来るような体制を作っておくのも今後の為にも便利かなと思いました。
情報が点在するのではなく、整理・統合されるような取り組み
医療・介護の資源については、目まぐるしく変化しているように感じられる。よりタイムリーな情報把握に努める必要があると思う。
おたすけマップそのものの周知が必要だと思います。

相談先のスーパーバイズ(対象者の状況から、施設種類や担当者について助言をもらいたい)
地域住民が必要な支援につながる、医療・介護職が連携したい機関を迅速に把握できることが重要だと思う
県の公表情報と市町村担当で把握している情報を総合し、HP 上で随時情報更新を行う
・他の情報ツール(えらべる+等)との共有や施設の空き状況が分かるような機能

<結果・考察>

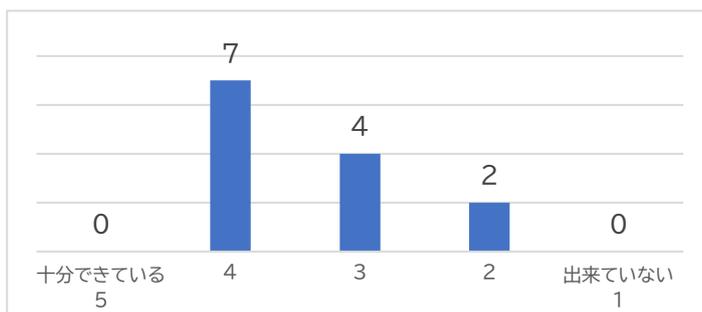
- ・医療・介護おたすけマップの改善・工夫が必要な点として、検索機能、情報更新に関する内容が一番多く挙げられた。
- ・今後の取り組みに対して、情報の整理・統合に関する内容が一番多く挙げられた。

<今後に向けて>

- ・医療・介護おたすけマップの定期的な情報更新作業の継続に加え、行政担当者および事業関係者に、新規・廃止等の事業所の情報提供の協力依頼の強化。
- ・各市町村が把握している資源(介護保険外のサービス含む)の統合の検討を行う。

●在宅医療・介護連携推進会議の開催

貴市町村ブロックの推進会議では、地域における課題抽出・共有ができていますか。その理由も教えてください。



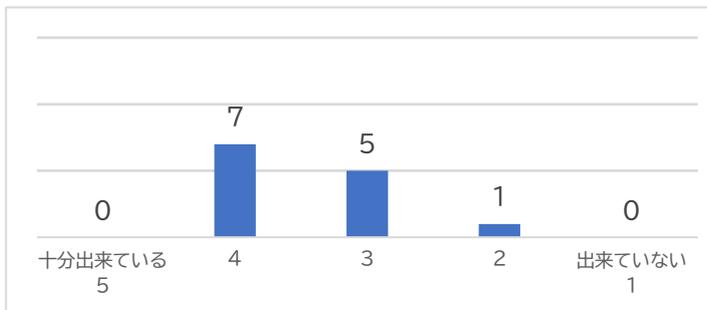
平均値 : 3.4

理由

うるま市	2	今回適切な救急要請が主になっていたため、各委員からの課題が十分に聞けてない感じがした。
沖縄市	4	今年度市の課題をデータを元に抽出共有した。
宜野湾市	2	市としての課題抽出が不十分ではないかと感じる。
金武町	4	課題解決に向けて取り組んでいるので。
宜野座村	4	地域資源不足・人手不足の課題は委員でも浸透していると思っています。
恩納村	4	委員の皆さんもいろいろ発言していただいているし、行政の連携もある程度できていると思う。
北谷町	4	未回答
嘉手納町	3	見えている課題に対する意見交換は行っているが、課題抽出については今後さらに充実させる必要がある
読谷村	4	年度ごとに決められたテーマにおいて、それぞれの現場での実情や課題を共有できる委員会となっている。
西原町	3	テーマを絞って検討、話し合いができています
中城村	3	他市町村の情報共有はできているが、本村自体の現状把握ができていないので、課題の抽出ができていない
北中城村	4	推進会議にて各委員の方々と課題等の共有できている

広域連合	3	単独の市町はどうなのか分かり兼ねますが、広域のABCは3つの行政区が1つとなり各々課題が異なっているかと思えます。よって、課題抽出に関しては弱いような感じがします。ただ共有に関しては、話し合う場があるのである程度は出来ていると考えられます。
------	---	--

貴市町村ブロックの推進会議で挙げた地域課題について、整理・対応策の検討がされていると思いますか。その理由も教えてください。



理由

うるま市	2	上記同、少しながら課題は上がっているが、その対応策まで至ってなかった。
沖縄市	4	課題からそれぞれの立場で出来ることの検討ができた。
宜野湾市	4	勉強会や意見交換、交流会等での進め方をコーディネートしていただいていることで検討ができています。
金武町	4	課題解決に向けて取り組んでいるので。
宜野座村	4	マインドマップ等でわかりやすく地域課題を整理されていたと思います。
恩納村	3	いろいろな課題がその都度上がってきたりするので、どこに向かっているのか方向性を見失いがちになることがある。
北谷町	4	未回答
嘉手納町	3	数値データによる評価、具体的な対応策の検討は今後の課題と考えている
読谷村	4	すぐに解決できない問題が多いが、年単位のスパンで意見交換をしながら具体的な対応策を実施できている
西原町	3	課題解決に向け、交流会という形で実施することができたため。
中城村	3	本村の現状把握中
北中城村	4	推進会議にて課題の整理・対応策について話し合うことができています
広域連合	3	地域課題の整理はある程度出来ているかと思えます。対応策については、各々の町村の思惑もあったり、考えがあるかと思うのでその全てを把握し、網羅して対応策を図るのはなかなか難しいのではと思いました。

次年度以降の推進会議の進め方等について、ご意見・ご提案があれば教えてください。

うるま市	委員からの課題・意見から、早急に取りかかるべき事案は何かを検討していきたい。
沖縄市	R7より具体的な実行策と評価を元に考えていきたい。
金武町	今のままで良いと思います。
宜野座村	課題に対する年間計画～数年単位計画(スケジュール)を委員の方々と一緒に立案できればと思っています。
読谷村	一つの議題にかかる協議に時間を要し、会議時間が長い。事前に意見をとりまとめ共有し、会議では事前に共有された意見に対しての詳細な説明、方向性の確認ができると効率的かと思いました。
西原町	広域ブロックではなく、市町村ごとの開催も検討したい。
北中城村	推進会議のテーマによって委員のメンバー構成を配慮したほうがいいのか

広域連合	<p>単独の市町はどのような感じで会議を開催しているのかわかりませんが、広域に所属する町村にて会議開催時間が18時以降であり、開始時間として2ヶ月に1回だとしても負担に感じているのではと思いました。</p> <p>提案として①開催時間を業務時間内への実施、②ZOOMを利用しての会議開催など、その様な検討の余地があるのか(医師会の負担も減らせるのでは?)。あと参加事業所にて偏りみたいないところはないのか(例:〇〇町村にある事業所が多いとか)。あくまでも理想ですが、もう少しざっくばらんに、気軽に皆が何でも話せる会議の雰囲気づくりもあれば良いかと思いました。</p>
------	---

<結果・考察>

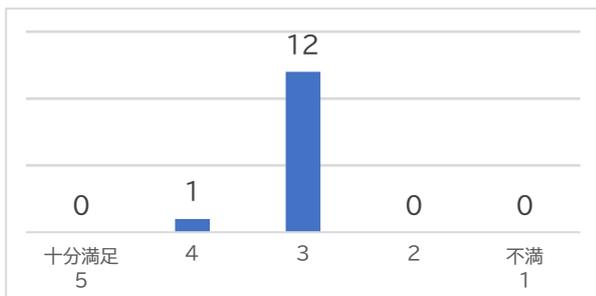
- ・推進会議の総合評価は、「地域課題の抽出・共有」が3.4、「整理・対応策の検討」が3.5と、一定の成果はあるが明確な改善余地もあると判断できる。また、各ブロックで見ると評価にばらつきがあった。
- ・十分できていると回答した行政担当者はいなかった。
- ・地域課題の共有や整理は一定程度進んでいるものの、市町村単位での現状把握や委員意見の十分な抽出、広域開催における焦点の分散、委員構成等が課題として挙げられた。

<今後に向けて>

- ・会議回数は変更できないため、年4回×2時間という少ない時間の中で、各ブロックの会議をいかに円滑かつ効果的に進められるか、各ブロックのこれまでの経過と特色等を踏まえ、行政担当者とともに協議を行う。(会議計画、協議テーマ、委員構成)
- ・行政担当者、コーディネーターの担当が変わっても停滞することがないように、各ブロックの会議運営体制および年間計画の標準化を図り、継続性と安定性のある体制作りについて検討を行う。

●相談支援

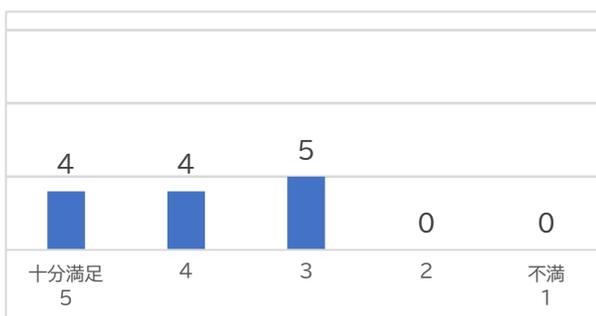
医療介護連携に関する相談窓口の満足度を教えてください。



平均値 : 3.1

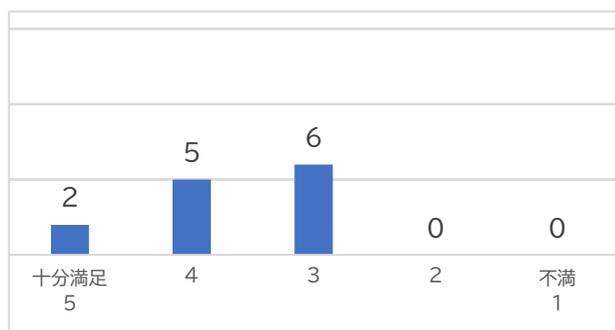
●地域住民向け普及啓発活動

各地域で行政・包括と調整して実施している出前講座の満足度を教えてください。



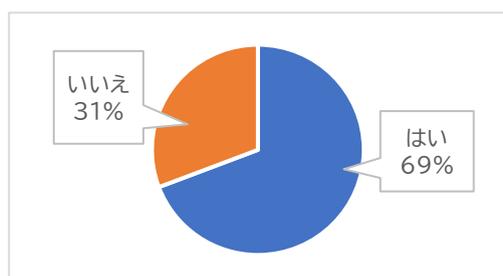
平均値 : 3.9

各ブロックで行政担当者と企画して実施している講演会の満足度を教えてください。



平均値 : 3.7

各種冊子等(エンディングノート、命しるべ、ACP アニメーション動画)を活用していますか。



上記設問で「はい」と答えた方。活用している場面や方法を教えてください。

うるま市	市民講演会や認知症関連・福祉まつり等で配布。各包括で実施している ACP 普及活動で活用
沖縄市	窓口、出前講座、イベント
宜野湾市	市民向け講座にて配布
恩納村	エンディングノートと命しるべの窓口配布。
北谷町	住民対象終活講座、認知症家族会等
嘉手納町	出前講座、講演会にて活用、その他地域包括支援センターにて ※要時配布。
読谷村	広報よみたん、デジタルサイネージでの啓発
西原町	介護の日のイベントや講演会で配布
北中城村	出前講座、講演会、認知症に関する事業、村広報誌など

上記設問で「いいえ」と答えた方。活用できていない理由を教えてください。

金武町	本人から相談があった方に対しては勧めやすいが、求めている方に対しては、まだハードルが高く感じています。
宜野座村	周知不足。周知方法がわからない
中城村	欠員等で、在宅医療介護連携推進事業に取り組む余力がないため
広域連合	現在はその様な取組に対して関係していないので。必要性は大事であると認識はしています。

地域住民への普及啓発活動について、今後、貴市町村においてどのような取り組みが必要だと思いませんか。

うるま市	周知方法の検討
沖縄市	高齢者だけでなく、幅広い世代への周知
宜野湾市	地道に回数を重ねること、他事業との合同で啓発の機会を確保すること
金武町	クリニック・薬局で動画を流したり、包括窓口での周知が必要かと思えます。
宜野座村	まずは講演会などの取り組みからだと思っています。
恩納村	介護保険や公的サービスのみに期待するのではなく、自助・互助を意識してもらえよう取り組み

	組み。
北谷町	庁舎内掲示、庁舎内待合室動画
嘉手納町	広報誌や講演会、講座等を活用し、継続的に情報発信を行う。
西原町	ホームページでの情報発信
中城村	以前、講演会を実施しており、その際に配布していたと聞いている。今後、以前のような講演会をすれのが、それ以外で普及啓発がどのようにできるかをまず係内で検討が必要
北中城村	住民向け講座、普及啓発用資料配布、相談窓口の周知など
広域連合	住民全体への普及啓発も必要だが、各公民館へ自治会長の協力を得ながら地道な活動から始めて、その後年1回でも良いので住民全体への普及啓発へと繋げていけるようなロードマップづくりといった計画も検討すべきかと考えられます。 あとは他課との横繋がりといった連携も持ちつつ実施すると互いの事業の理解、協力体制も整われて負担感も軽減できるのではと思いました。住民の意識改革や行動変容が最初の出発点だと思いますので、どうやって医療問題、介護問題を普及させていくかがカギだと思います。

<結果・考察>

- ・出前講座の平均値は 3.9、講演会は 3.7 であり、いずれも概ね良好な評価であった。特に出前講座は地域と連携しながら実施している点が評価につながっていると考えられる。
- ・各種ツールは、各行政にて多様な場面で活用されていることが確認できた。一方で、十分に活用できていない行政も見られた。
- ・今後の取り組みとして、周知方法の工夫や継続的な啓発機会の確保などが挙げられ、住民の意識改革や行動変容につなげるための計画的・段階的な取り組みの必要性が示された。

<今後に向けて>

- ・各行政にて実施している各種ツールを活用した普及啓発および既存活動の継続。
- ・継続的な啓発機会の確保については拡大の体制をどのように作るか行政担当者との検討を行う。

●医療・介護関係者の情報共有の支援

医療・介護関係者の情報共有の支援について、今後本事業においてどのような取り組みが必要だと思いますか。

共有ツール
MCS 等のツール活用の後押しになるような取り組み
まずは、マナーブック等を活用できているのか、活用して情報共有が上手くいっているのかを知りたいです。
多職種相互理解
既存のツール(連携マナーブックなど)の利用促進。
各役場におけるの困難事例やうまくいった事例の共有、検討を行うことで各現場の現状を知り、課題に対しての知識を深められるのではないかとと思う。
他医師会とも連動した取り組み。他医師会で実施した中で、いいものがあれば取り入れる。
退院支援の共有、顔合わせの場
顔の見える関係づくり、ICT 等ツール活用についての検討
医療関係者、介護関係者は共に経験してきた環境等が異なるのでなかなか難しい状況だと思います。さらには、医療関係者でも病院、診療所でも異なるし、急性期、回復期、生活(維持)期でも異なるし、介護関係者でも施設、在宅といった事でも異なるので、情報共有の支援の際には、誰に、何を、どの様にして等といった事を綿密に検討して実施していかないとなかなか難しいのではないかと思います。

<結果・考察>

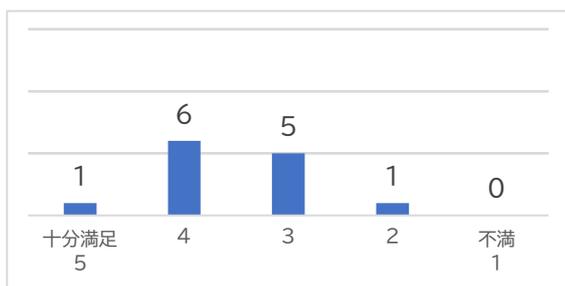
・マナーブックの活用・周知強化や、MCS 等の ICT ツールの活用、各職種の顔の見える関係作り、役割等の相互理解に関する内容が多く挙げられた。

<今後に向けて>

・次年度のマナーブック修正作業に合わせ、活用促進・周知強化を行う。(FAX、Instagram、HP)
・マナーブックの認知度や活用状況の把握方法の検討。

●医療・介護関係者への研修

4つの場面をテーマとして実施している多職種研修会の満足度を教えてください。



上記設問で「2 やや不満」「1 不満」と答えた方。その理由を教えてください。

市担当が研修会へ参加していないこともあり(スミマセン)、また、市町村担当者会議でも、随時説明をされているが、どこまで進んでいるかイメージできない。

研修会の内容や運営に関して、ご意見やご提案等があれば教えてください。

講義形式での研修であれば、Zoom で参加できるようにしたい。

受講できなかった方向けに、アーカイブ配信の検討をお願いします

日中の開催も検討して欲しい

研修資料データを行政側にも提供いただきたい。

中部地区市町村がまとめて研修となっているが、本市のどこの事業所が参加しているかも把握したいので、その参加名簿いただきたい。(今後の評価にもつながるので)

<結果・考察>

・多職種研修会の満足度は平均 3.5 と概ね一定の評価を得ていることが分かった。やや不満と回答した行政は、研修会に参加できていないこともあり状況を把握できていないことが理由であった。
・研修会への意見・要望として、配信方法や開催の時間帯に関する内容以外に、研修資料や参加名簿の提供の声もあった。

<今後に向けて>

・各行政担当者 と連携し、次年度より実施するサテライト開催体制を整える。
・研修会の参加事業所(今年度は事前申込み事業所)名簿を、完了報告時に提出できるよう体制を整える。

●4つの場面における地域課題について

貴市町村が着手したい・強化したい「入退院支援」の課題と、その課題に対して、他事業・他機関との連携も含めてどのような取り組みを実施できると良いと思いますか。

	課題	取り組み
うるま市	身寄りのない方の支援、推進会議でも意見あり	推進会議の中で検討したい
沖縄市	①身寄りのない方の支援 ②医療機関への介護保険制度全般の制度、周知	①現場の取り組みを継続 ②説明の場の調整
宜野湾市	身寄りのない方や家族の理解が得られず入院に繋がられないなど、行政側の課題がある	多職種連携(メディカル・ソーシャルワーク)の会議体の定例化
金武町	身寄りがいない人の入院が課題です。	入院時の必要な物とか、細かい事であれば、有償ボランティア等、生活支援体制整備事業等も絡めていければ良いと思います。
宜野座村	入院中と退院後地域に戻ってからのギャップ(入院中は支障ないが、在宅ではちょっとした段差も支障がある、認知機能面が評価されていない等)	地域から病院へ連携がとりやすい共通書式のようなものがあればいいなと思っています。
恩納村	介護保険申請を勧める理由やタイミングの共有	医療においても介護においても、自立支援の視点を取り入れた対応の意識づくり。
北谷町	課題共有、家族との連携役割分担など	各機関との関係作り、入退院支援パスなどの活用
読谷村	病院と地域でお互いの課題を共有できる機会が少ない	日頃から連携が多い関係機関との研修会や会議での意見交換、顔のみえる関係づくり
西原町	関係者とのスムーズな情報共有	情報連携がスムーズにいくようなツールを取り入れたい
中城村	各医療機関がどのような退院の流れが把握できず、在宅での生活をスタートする上で必要なサービスが遅れてしまっている	医療機関との情報共有の場
北中城村	・医療機関と退院時の調整においてケアマネジャーと連携して在宅の環境をと整えるには時間がかかる場合や複合的な課題を抱える住民への支援に課題がある ・医療機関の体制によって退院支援の対応や窓口が異なることがある	その他課題等含めて委託先と検討できたらと思います。
広域連合	入退院支援の窓口として病院、施設側、包括支援センターの1本化が必要かと。各々の箇所に専属の担当者(窓口)を設けて対応してもらおう仕組みづくりが必要かと考えられます。	実際に取組んだ事はないので、理想論ですが、地道に各関係者への説明等実施する必要があるのかと考えています。

貴市町村が着手したい・強化したい「療養生活支援」の課題と、その課題に対して、他事業・他機関との連携も含めてどのような取り組みを実施できると良いと思いますか。

	課題	取り組み
沖縄市	未回答	今後も現在の取り組みの継続
宜野湾市	地域住民による見守り体制の希薄化に伴う孤独死。また、地域密着型サービス「看護小規模多機能型居宅介護」施設が未整備である。	地域の葬祭業者や不動産業者、NPOと連携した「死後の手続き」までのトータルサポート。また、民間企業と連携した日常的な見守りネットワークの構築。

金武町	支援者のいない方の支援が課題です。	これも、有償ボランティアや介護以外の事業所との連携も必要かと思います。
宜野座村	現時点で取り組めていないので課題や取り組みについて回答が難しいです。	//
恩納村	訪問介護サービスが不足しており、地域での生活に支障が出てくる(すでに支障が出ている)ことが考えられる。	本村では令和7年度から訪問介護サービスの移動費支援を開始しており、令和8年度においては、人材育成・人材確保のために介護職員初任者研修と介護職員実務者研修を村として実施予定。
北谷町	介護力の弱いまたは独居者の療養生活支援の継続体制支援	生活支援体制整備事業で、住民、銀行等含めたフレンドリー社会に向けた体制構築会議
読谷村	地域住民や支援者が医療や介護に関する情報収集に労力、時間がかかる	地域活動を行う中での情報収集と集約、整理
西原町	認知症の方の家族を含めた支援	認知症推進員との連携
中城村	現状把握ができていない	現状把握から始める
北中城村	・療養生活を支える専門職の人材不足 ・多様な生活支援サービス不足 ・世帯の複合的課題(高齢の親と、引きこもりの子)など高齢者支援だけでは対応できない複雑なケースへの対応	同上
広域連合	いかにして在宅での生活を維持できるかが大事になってくるかと思うので、単身者世帯、高齢者世帯のみといった方々へ連携支援としてのフォーマット作り、対象者把握のデータ管理など適切な支援体制が出来るような準備を着々と進めていく必要性があるかと思います。	対応したことが無いので、案としては、管理対応が重要だと思っておりますので、DX、ITといった管理部門との連携にてどうにか対応出来ればと思います。

貴市町村が着手したい・強化したい「**急変時対応**」の課題と、その課題に対して、他事業・他機関との連携も含めてどのような取り組みを実施できると良いと思いますか。

	課題	取り組み
うるま市	推進会議で現在何が課題になっているか、各委員から意見を確認したい。	同上
沖縄市	未回答	医療・介護・消防の円滑の連携のためのとりくみの検討
宜野湾市	地域密着型サービス「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」施設が未整備である。	上記施設の整備を目指して、法人や事業所へのサウンディング
金武町	ACPの考えが上手く伝わっていないのが課題です。	緊急キットやACP動画等をもっと周知できれば良いなと思います。
恩納村	本人が望む治療を確認できるような仕組みづくり。	令和7年度より、金武町・宜野座村と合同で救急搬送時の救急医療情報キットの運用を開始した。この医療情報キットの普及やエンディングノート・命しるべの普及を行う。
北谷町	休日、夜間含めた見守り体制	生活支援体制整備事業として社協との定期会議で地域自治会活動の整備
読谷村	急変時に本人の意志が確認できておらず不本意な治療を受けることがある、	早期からのACPの普及啓発、日常でのシミュレーションや対応フローの想定
北中城村	住民、医療・介護関係者へのACPに関する理解	同上

	促進が不十分な場合が多い	
広域連合	同上	あくまでも案ですが！これまでは緊急通報システムが主流だと思いますが、スマホ等が普及した今は、高齢者もそれを使用できるような状態だと思いますので、それについての説明会を開催してみても良いのでは

貴市町村が着手したい・強化したい「**看取り支援**」の課題と、その課題に対して、他事業・他機関との連携も含めてどのような取り組みを実施できると良いと思いますか。

	課題	取り組み
うるま市	本市でどれぐらいの施設が看取りを行っているか、実態が見えない。	アンケート調査が必要か、推進会議で検討したい。
沖縄市	未回答	現在行っている施設への研修の継続
宜野湾市	「最後まで家で過ごしたい」という本人の意思が家族の負担(介護疲れ、不安等)で断念されること。また、看取り期に本人の意思(ACP)が十分確認できないこと。	ショートステイ利用枠の拡大等による家族のレスパイトケア。また、住民向け ACP 啓発セミナーやエンディングノートの配布を継続すること。
金武町	住民の看取りに対する知識不足が課題です。	少人数での集まりに「看取りとは」みたいなお話ができれば良いか思います。
恩納村	訪問診療や訪問看護の状況を見ると、自宅(施設等含む)での看取りがもう少し増えてもいいのではないかと思う。	最期の場所として「自宅」が選択できることの情報発信。
北谷町	看取り対応事業所が少ない	看取り対応研修の強化及び積極的参加呼びかけ、看取り対応事業所への協力依頼
読谷村	在宅看取りについて行政へ入る情報が少ない。また、地域で看取りを行える施設がどの程度か把握できていない。	高齢者施設、往診医、訪問看護、CM 等からの情報収集
広域連合	同上	こちら案ですが、今後単身者世帯が増えていくので、看取り支援はかなり大きな課題になるかと考えられます。2040 年までに良い感じで課題解決に向けて進展する事を願っています。

<結果・考察>

・各場面の主な課題として、以下が共通課題として多く挙げられた。

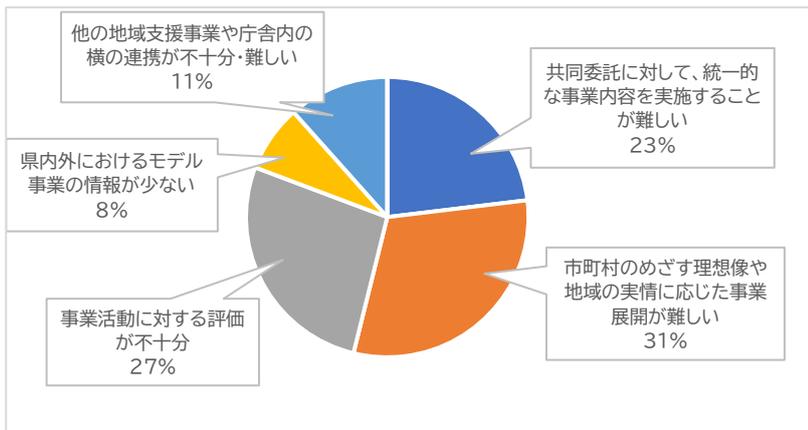
入退院支援	療養生活支援
<ul style="list-style-type: none"> ・身寄りのない方への対応 ・医療機関と地域の情報共有不足 ・退院支援の流れや窓口の不明確さ ・入院中と在宅生活とのギャップ、相互理解不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者や支援者のいない方への対応 ・見守り体制の希薄化 ・人材不足、訪問介護サービス不足 ・複合的な課題を抱えた方への対応
急変時対応	看取り支援
<ul style="list-style-type: none"> ・ACP の理解不足や周知不足 ・地域密着型事業所の不足 ・夜間・休日の見守り体制不足 ・医療・介護・消防など関係機関間の連携不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅や施設での看取り実施状況の把握不足 ・看取りを行える施設が少ない ・住民・家族の知識不足、ACP の確認不足

<今後に向けて>

・次年度実施する合同勉強会のワークの材料にし、本事業で行える取り組みについて行政と検討する。

●本事業の活動展開について

本事業の活動を企画・推進する上で、どのような点が課題だと感じますか。



委託先(在宅ゆい丸センター)の事業運営について、どのような点が魅力だと感じますか。

事業所間の横のつながりを持たせるような企画・運営、Instagramでの情報発信
医療との連携。
色々な所と繋がっていける所です。
他市町村の実情や動向がよくわかる。冊子や講演会等のとりまとめ。
中部地域への密着度根ざした事業展開
中部地区医師会が担うので多職種からの協力が得られやすいのかなと思います。
地域の診療所、病院等、医療とのネットワークが構築できる
会議や研修等、本町だけではマンパワー不足のため事業の推進が難しい。医師会に委託することで、質の高い運営が期待できる。
中部圏域の医療・介護事業所とネットワークづくりが行える点
在宅診療(訪問診療)を増やすためには、医師会の力が魅力
医療・介護制度や福祉の観点など保健医療福祉の構造的な知識と専門性を生かし、多職種間の連携体制を構築している点
連携のしやすさ

委託先(在宅ゆい丸センター)の事業運営について、どのような点が課題だと感じますか。

人材確保
人員体制の安定化のため、職員の働きやすい環境整備
・共同委託のため事業内容の変更や実施までに時間を要する。 ・各専門部会とのネットワークが強化できれば情報収集や発信等、事業の展開がしやすいと思う。
限られた人員体制の中で事業を推進しているため、実施可能な取組の範囲や深度に一定の制約が生じている。
アウトカム指標の設定

貴市町村において、今後重点的に実施したい事業項目または取り組み等について教えてください。

うるま市	推進会議での委員の意見を確認したい。身寄りのない方の支援はいつも声があがっているので取り組めたら良いかと思う。
沖縄市	国の動向を踏まえた事業の展開と行政との共有
宜野湾市	令和 8 年度より総合事業を見直し、介護予防支援(軽度者支援)に注力する企画をしている。本事業において要介護者の重度化防止の視点も含め、介護予防をテーマにすることができるか検討したい。
金武町	看取りに対して、重点的に考えていきたいです。
宜野座村	普及啓発
恩納村	住民への普及啓発(情報発信)。講演会等の単発的なものではなく、日頃から行える情報発信。
北谷町	認知症本人家族会定期開催、高齢者フレンドリー社会体制整備の推進
嘉手納町	課題の見える化(県・中部・B ブロックの課題を数値可)取り組みが上記課題を解決する方向に向かっているか、評価できるようにしたい。
読谷村	関係機関とのネットワークづくり。ACP の普及啓発
西原町	町内の医療・介護関係機関との顔の見える関係づくり
中城村	現状把握ができていないので、重点事項はまだ見出せてない
北中城村	今後高齢化が進むにつれ、医療と介護のニーズがある高齢者も増えていくため、この事業の取組はとても重要だと思われる。4つの場面を意識しながら取り組むことが重要

<結果・考察>

- ・本事業を実施する上での課題として、「市町村のめざす理想像や地域の実情に応じた事業展開が難しい」が 31%と一番高く、次いで「事業活動に対する評価が不十分」27%、「共同委託に対して、統一的な事業内容を実施することが難しい」23%であり、コーディネーターが感じている課題と相違ないことが分かった。
- ・今後重点的に実施したい取り組み等について、介護予防・看取り支援、住民への普及啓発、関係者ネットワーク構築、課題の可視化・評価などが挙げられた。

<今後に向けて>

- ・次年度実施する合同勉強会(事業理解、ロジックモデル)を通して、上記3つの課題に対して解決のヒントを得られるよう、本アンケート調査結果を材料に行政担当者とともに建設的な意見交換を行う。

●その他

在宅ゆい丸センターについてご意見、ご提案等ありましたらご記入ください。

在宅医療に必要な連携を担う拠点事業について、進捗があれば市町村にも共有していただきたい 提案としては、医師会という立場を最大限に利用して、人材の引き抜き？県への人材の支援体制の要望？などなど早急な打開策を願っております。あと採用情報にて必要な情報がないのでそこは早めに対応をした方が良いかもしれません。賃金、手当、各種福利厚生などの情報が大事かと思いますが…。現在入手できない環境となっています。 最後になりますが、直接的な行政担当者ではなくいろいろ記載させて頂きました。あくまでも個人的な意見としてこの様な意見もあるのだなと捉えて頂けると幸いです。この事業が開始されてまだ 10 年足らず、もしくはもう 10 年経過、といった感じでなかなか難しい事業だと考えられますので、歩みを止めることなく取り組んでいく事を期待しています。
--